

# あしや 市議会 だより

2017年 11月  
No.102



## すき すき だいすき みつけよう



岩園  
幼稚園

平成29年4月に  
リニューアルオープンしました。

- 注目の議案をPick up
- 平成28年度決算
- 一般質問 ~市政を問う~

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。  
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

# 注目の議案

平成29年  
第3回定例会  
9月4日～  
10月5日  
32日間

今定例会では全部で18件（市長提出議案…14件、議員提出議案…1件、陳情…3件）の議案等が審議されました。  
今号では、この中から3つの議案をピックアップして紹介します。

## Pick up 1

市立の幼稚園と保育所の設置及び管理に関する二つの条例の一部を改正(第54号議案)  
**市立朝日ヶ丘幼稚園、市立精道幼稚園及び市立精道保育所を廃園(所)へ**

**可決**  
(賛成多数)

### 質疑

Q 廃園となる朝日ヶ丘幼稚園に通う方が岩園幼稚園へ通園する場合の安全対策は？

A バス通りは歩車道が分離されているため、一定の安全面は図れている。

Q 自動車通園は認めるのか？

A 原則、認めていない。

Q 朝日ヶ丘幼稚園を建物の改修期間である1年間の空白期間をおかずに有効活用できないか？

A 今後、長く教育・保育施設として活用するのであれば、動線等も含めた全面的な改修が必要であり、利用できない期間が生じる。可能な限り工事期間は短くしたい。

Q 朝日ヶ丘幼稚園の跡地に認定こども園を設置した場合、相当数の待機児童が解消されるのか？

A 解消される。



Q 住民の合意形成はどのように考えているのか？

A 今回の市立幼稚園・保育所のあり方については見切り発車ではないかという意見もあるが、100人が100人の理解をいただいて進めるとなると相当な時間がかかる。ご理解をいただきたい。

### ※今後の予定

- 朝日ヶ丘幼稚園については、平成32年4月から岩園幼稚園に統合
- 平成33年4月に朝日ヶ丘幼稚園の敷地で私立の認定こども園を開園
- 精道幼稚園と精道保育所については、平成31年4月から精道幼稚園の敷地で市立の認定こども園を開園(平成33年4月に現精道保育所の敷地に移転)



賛成・反対それぞれの立場から討論

### 賛成討論

● 子どもの数の減少により、年少・年長クラスを1クラスずつで続けていくことは、教育的な観点から弊害が大きい。

● 一刻も早く待機児童を解消しなければならない。

● 今後、建物を建てる場合は、他の目的にも使用できるフレキシブルな設計にしてほしい。

● 市立幼稚園・保育所のあり方についての方針が出されてから最初の議案であり、関係各位には苦渋の思いをさせているところもあるため、留意しながら進めてほしい。

● 社会情勢や幼児教育を考えた場合に、複数学級で運営することが望ましい。

● 山手圏域の待機児童解消策の進展が期待される。

● 「精道」という冠を持つ幼児教育施設を公立で存続させていく意向を評価できる。

### 反対討論

● 朝日ヶ丘幼稚園での認定こども園の設置については地域も含めた合意形成が必要と考えるが、安全対策も含め、不確定要素が多い。

● 精道保育所における認定こども園については、土地が手に入るかどうかかわからない状態で進めることは非常に乱暴である。

## Pick up 2

### 一般会計補正予算(第2号)(第55号議案) 義務教育就学援助費を 年度内支給へ

可決  
(賛成多数)

#### 質疑

市立認定こども園の整備

Q 設計や土地利用の計画検討業務を市内部で行うことは難しいのか？

A 市内部での設計も可能ではあったが、所管課の業務量も相当増えており、外部委託という判断に至った。

都市再開発事業特別会計への繰出金

Q 正規職員の増員を予定しているJR芦屋駅南地区の再開発事業に従事する職員の業務内容は？

A 今年度中に事業計画の策定を完了させることを目標としているため、それに対応する人員である。

#### 要望

今なお、JR芦屋駅北側の再開発事業では、保留床の問題、送迎車両の駐車や駐輪対策の問題など、さまざまな問題が残っている。JR芦屋駅南地区の再開発事業では、これらの課題を解決できるようにしっかりと取り組んでほしい。

義務教育就学援助費

Q 入学前に準要保護児童・生徒に対し、学用品費等の給付をするという判断に至った経緯は？

A 議員からの申入れや、かねてからの市民の要望もあり、年度内に早く支給した方がよいと判断した。

#### 要望

申請漏れがないようにしっかりと周知に努めてほしい。また、給付が目的外で使用されることのないよう十分考慮してほしい。

#### 内容

市立認定こども園の整備、都市再開発事業特別会計への繰出金、義務教育就学援助費、部活動校外活動などの予算の追加を行うもの

部活動校外活動

Q 内容は？

A 建て替えてグラウンド使用に支障がある山手中学校の工事期間中は男女テニス部がそれぞれ週1回程度、学校外で活動する。その活動に伴う公共交通機関などを利用するための予算である。

賛成・反対それぞれの立場から討論

#### 賛成討論

待機児童が増えている現状や中長期的に就学前の子どもたちの育ちを考えた結果、認定こども園を選択し、公立を望む声にも一定配慮をしていただいた。本市の計画に期待を寄せておられる方や、不安を持っておられる方々の理解を深められるように、これまで以上に努力してほしい。

人口減少や保育所が求められる社会情勢の中で、就学前の教育・保育を維持していくためには抜本的な改革が必要であり、そのための補正予算をしっかりと実現していくことが重要である。

#### 反対討論

これまで要望してきた準要保護児童・生徒に対する就学援助費が計上されていることは評価する。幼稚園・保育所の再編計画については、保護者や地域住民は拙速に進めないことを望んでおり、市民の合意がないまま進んでいく。

幼稚園・保育所の統廃合計画は、将来の子育て環境にとってベストなものかという点を考えた時に、保護者や市民との合意というものがまだまだ不十分である。

## Pick up 3

### 市役所分庁舎及び 消防団精道分団建替工事 請負契約の締結 (第58号議案)

可決  
(全員一致)

#### 質疑

Q 入札において一括発注にするのか、分離発注にするのか、行政として一定の判断基準はあるのか？

A 基本的に分離発注という考え方であるが、工事の期間や施工の関係でやりにくい場合は一括発注としている。

Q 分庁舎に設置する機械式駐車場の形状とその利用者は？

A 機械式駐車場は3段式であり、ハートフル福祉公社の車両のみが入り出す。

#### 要望

今回は入札金額にばらつきがあったが、今後も公平・公正な入札が行われるように、入札結果の分析をしっかり行ってほしい。

今後市として市内業者を育成するような努力を続けてほしい。

市民が利用しやすく使い勝手のよい施設にしてほしい。

マンホールトイレは防災トイレというような位置づけもあるのだから、今後も計画的な配置をお願いする。

※全ての議案等の内容と審議結果は11ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

## シティプロモーション企画作成業務委託料

680万4,000円

問 目的は？

答 市の魅力発信・シビックプライド(※まちに対する誇りや愛着)の醸成

問 首都圏に対しての発信手段は？

答 Webや私鉄の沿線で放映できるように芦屋市の綺麗な景色や特徴的なところを取り上げて3本の動画を作成する。

また、市内事業者が販売している商品を紹介

問 ロゴマークの申請状況は？

答 呉川町の防災・防犯グループや市内の郵便局から申請があった。

意見・要望

作成したロゴマークは市民に届かないと意味がない。SNSを活用するなどして、ロゴマークの普及に努めるべきである。

## こども医療費

7,225万2,429円

問 医療機関の受診件数が増えている要因は？

答 平成28年7月から医療費が無料になったことにより、受診しやすくなったことが要因だと考えている。

問 適正な受診とは？

答 早期に受診をして、重症化を防ぐことだと考えている。

## 高齢者バス運賃助成事業費

7,859万9,180円

問 ICカードの有効期限は？

答 平成31年3月まで

問 転入等で交付申請をしても一律の有効期限となるのか？

答 平成31年4月に更新作業を予定している。

問 更新作業に伴う市と阪急バスとの負担の割合は？

答 平成30年度予算に計上するが、更新に関わる事務については市が負担する。

問 外出支援として市が行っている事業としては理解できるが、バス事業者にとっても利用者確保のメリットがある。市が全額を負担する必要があるのか？

答 バス事業者と協議していきたい。

意見・要望

今後、高齢者が増えると事業そのものの見直しも必要だと思うが、このまま事業を続けていくのであれば、利用者の増加は、バス事業者にとってもプラス要因に働くので、更新に伴う費用について市が全額を負担するのは納得がいかない。更新作業まで時間があるので、バス事業者と協議をしてほしい。

## 市内一元公益灯LED化工事

2,284万4,160円

問 工事で照度も上がっているのか？

答 老朽化に伴う蛍光灯のLED化は照度が上がっている。水銀灯であったものは、同じ照度でランニングコストが安くなるLEDに順次変更している。

問 屋外広告物条例の施行により、ライトを使用した看板も減る中で、夜間の暗さについてどのように捉えているのか？

答 夜間の照度は、看板等の照明に頼らず、ある程度の照度を確保する必要がある。照度調査などを行い、必要に応じて照度アップを図っていく。

意見・要望

安全なまちというのも芦屋の魅力の一つである。暗いと犯罪が起こる可能性が上がるため、配慮を求める。

## 就学援助費の通学費

小学校21万5,480円 中学校13万6,540円

問 就学援助費の内訳のうち、通学費とは？

答 準要保護世帯の方で、通学距離が片道4km以上の小学生および片道6km以上の中学生に対し、バス等の交通機関を利用した際の運賃にかかった実費を支給している。

問 奥池地区に居住している小学生や中学生の人数は？

答 小学生56名・中学生26名(平成29年5月1日現在)

問 バス代を支給している奥池地区の対象人数は？

答 小学生5名・中学生2名

問 奥池地区に居住している小学生や中学生には、所得に関わらず、何らかの対策が必要では？

答 平成15年の行政改革で奥池地区通学費助成については廃止したが、平成27年に文部科学省から遠距離通学する児童生徒の安全確保についての考え方が示されていることもあり、今後、近隣の状況を精査して何ができるのか検討していきたい。

意見・要望

早急に検討を進めてほしい。



決算特別委員会

## 日本共産党

反対

小学4年生まで留守家庭児童会の対象者が拡大され、また、平和の取り組みが進んだことは評価する。市税総額が昨年度比2%増という財政力にあって、年収約200万円以下世帯の割合が増加傾向にあり、所得格差が広がる中で市民生活の実態に寄り添った財政運営がされていないことは問題である。幼稚園・保育所の統廃合計画や屋外広告物条例など行政運営の主体である市民を置き去りにし、住民合意もなく強引に進められていることに反対する。

## 日本維新の会

賛成

昨年度同様、さまざまな行政サービスの充実に努められたことを高く評価する。財政指標に目を向けると、経常収支比率が上昇したほかはおおむね改善されている。しかし、少子高齢化による社会保障費の増大などのリスクを抱える一方で公共インフラの更新など支出額の大きな事業が控えており、楽観視できる財政状況ではない。今後も慎重な財政運営の継続と、持続性のある行政運営を目指し、徹底した行政改革の取り組みを要望する。

# 平成28年度 決算

## 一般会計歳出決算額 442億2,235万4千円



決算特別委員会は、一般会計・特別会計・財産区会計の各決算について9月27日から3日間にわたり審査を行いました。

各委員は予算執行に対する市の姿勢や各事業の成果など多岐にわたる質疑を行い、その後の討論では、あしや真政会、公明党、日本維新の会が全会計に賛成、日本共産党が一般会計を含む計4会計に反対の討論を行いました。

討論の後の採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

### ■平成28年度決算

平成28年度は、芦屋市の第4次総合計画後期基本計画および創生総合戦略に基づき、芦屋の魅力を高め、発信することを目指して事業を選択し、特に総合戦略関連事業に重点を置いた予算執行となりました。

### ■主な事業

- ◇景観形成事業の推進 ◇耐震改修促進事業の拡充
- ◇通学路への防犯カメラの設置 ◇妊婦健康診査に対する助成の拡充
- ◇ICT教育環境の整備 ◇あしやキッズスクエア事業の拡充
- ◇市営住宅の大規模集約事業 ◇高浜分署・社会福祉複合施設の整備
- ◇岩園幼稚園の整備 ◇大原集会所・市民センター等の改修など

### ■決算収支の概要について

	一般会計	特別会計	財産区会計
歳入総額 (前年度比)	452億9,601万9千円 (1億9,296万3千円 △0.4%)	299億3,197万5千円 (12億9,980万1千円 △4.2%)	4,133万1千円 (668万円 +19.3%)
歳出総額 (前年度比)	442億2,235万4千円 (11億5,483万6千円 +2.7%)	292億3,833万7千円 (15億7,635万4千円 △5.1%)	640万6千円 (240万7千円 +60.2%)

### ■質疑や意見・要望(抜粋)

#### マイナンバー窓口業務委託料

1,777万1,423円

- 問 個人番号通知カードの未交付件数は？
- 答 平成29年8月末現在で431通(全交付通数の0.96%)
- 問 今後の対応は？
- 答 窓口に取りにこられる方も時々いるので、当分は様子を見ながら対応していく。
- 問 マイナンバーカードに健康保険証としての機能の追加をいつ行うのか？
- 答 平成30年度以降に追加する予定
- 問 本庁舎北館1階のマイナンバー受付交付業務を行っていたスペースの、今後の活用方法は？
- 答 市民が集える場所として検討している。来年度は、図書館が大規模改修工事を予定しているため、工事期間中は本の貸し借りの窓口として利用を検討している。

#### 意見・要望

市役所の顔になる場所でもあるので、市民に喜ばれる空間を創出してほしい。

#### 市内一円防犯カメラ設置工事

3,185万9,160円

- 問 設置箇所数は？
- 答 80カ所(各小学校区で10カ所)
- 問 プライバシーの問題についての苦情は？
- 答 工事をしていく中で問い合わせはあったが、趣旨等を説明しており、設置後にプライバシーについての苦情はない。
- 問 今後の設置予定は？
- 答 今年度は20カ所設置予定。今後の運用については、市民の意見を聞きながら検討していく。
- 問 平成28年度中に警察の捜査の参考になった具体的な事例は？
- 答 警察からの情報開示依頼は5件

### 決算に対して 会派から一言!

#### あしや真政会

賛成

財政指標はおおむね改善傾向にあるが、経常的な経費が増加しており、財政の硬直化がうかがえることから、今なお決して安心できる状況ではない。今後も、安定した市民サービスと持続可能な芦屋のまちづくりを進めていくためには自主財源の確保が重要であり、人口減少対策が急務となる。また、大型事業のみならず、身近な施策に対してもしっかりと目を配り、将来につけをまわさない堅実な財政運営の推進を期待する。

#### 公明党

賛成

市民は、常に行政の事業に無駄があるのではないかと感じている。行政のコスト意識の醸成が、これからさらに求められていく。今後、JR芦屋駅南地区の再開発事業、中学校の建て替え事業などの大きな事業を展開していかなければならない。また、公共施設の維持管理にも多大な財源が必要である。少子高齢化の進展により、社会保障費の増加は免れない。国の内外を取り巻く環境に注視をしながら、市政運営にあたることを要望する。

# 一般質問

9月13日～15日の3日間に18人の議員が、計42項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。

松木 義昭 あしや真政会

神鋼石炭火力発電所の本市に与える影響について

議員 現在、神戸製鋼が避区で石炭

火力発電所の増設を検討している。長期間にわたる温室効果ガスの大量排出、PM2.5の環境影響評価が未実施であること、水銀の排出総量が公表されていないことなどの問題がある。増設予定地は本市から8キロ西であり、本市への影響は大きいのではないか。

市

石炭火力発電は安定供給性、経済性に優れた重要な電力源として必要であるため、高効率化を図り環境負荷を低減しつつ活用していく方針を国が示している。今回の増設計画による本市への影響は、市民生活にとって重要であるため、10月31日に環境審議会で答申をいただき、市の考えをまとめ、11月15日までに環境影響評価準備書への意見書を県へ提出する予定としている。



きれいな空気・環境を守りたい



その他の質問  
・小学校での英語と道徳の教科化について

福井 美奈子 あしや真政会

「芦屋市国民保護計画」の市民への周知徹底を

議員 武力攻撃や大規模テロ等発

生時における市民の生命・身体・財産の保護を目的とした同計画が策定されて10年。今後の市民への啓発について問う。

市

芦屋市国民保護計画については、市民へのさらなる周知が必要と考えており、さまざまな媒体を通じて、市民が取るべき行動を周知している。

議員

イノシシ被害の防止対策について

イノシシが市街地に出没している。その生態を理解し、イノシシが近寄り難い環境をつくる取り組みが急務である。今後の対策について問う。

市

イノシシ対策については、現在、山林から住宅地への出没ルートに箱わなを設置し、猟友会による見回りを毎日実施するなど、被害防止に努めている。今後、近隣市と広域的な一斉捕獲の取り組みについて協議していく。



市街地に出没するイノシシ



田原 俊彦 公明党

保育所に入所予約制度を

議員 入所予約とは、子どもが1歳以上になるまで育児休業を

取得し、復帰月からの入所をあらかじめ申込みできる制度である。今後、本市も制度導入を検討すべきではないか。

市

多くの待機児童を抱える本市では、現在のところ導入は困難と考えているが、「市立幼稚園保育所のあり方」の取り組みによる待機児童の状況に応じて検討していく。



認定こども園が計画されている精道保育所

防災計画は地域全体で

議員

国のガイドラインでは「地区防災計画は、地区の居住者及び事業者が行う」とある。今後、計画策定は事業者と住民が一体で作っていくべきではないか。

市

地区防災計画は、市民を対象に進めてきたが、今後は商工会等への協力要請も行い、事業者も含めた地域全体の取り組みを推進していく。



その他の質問  
・福祉について  
・教育について

### 説明責任を果たせるガバナンスを目指して



**議員** 基金は防災への備えを想定しているのか。

**市** 基金は、市民の生命・財産を守るための資金繰りに対応できることが重要と考えている。

**議員** 統一的な基準による公会計の進捗状況、新たな分析方法等はどうなのか。

**市** 今年度末の公表に向けて、資産の価格計算などを進めている。新たな分析手法として、有形固定資産減価償却率など他市の事例も踏まえ検討している。

**議員** 内部統制に関する方針の策定はすべきではないか。

**市** 今後、作成に向けて検討していく。代替用地である東芦屋町の市有地について、山手線事業を中止せずに売却するとしたのはどのような財政的数値によるのか。

**市** 土地開発公社解散時の計画に従い、一般競争入札により売却し、その収入を基金に積み戻すこととしている。

※その後、いったん入札中止となりました。

#### その他の質問

- ・非正規という働き方について
- ・ごみ処理広域化の検討について



月刊地方財務2016年11月号・12月号  
株式会社ぎょうせい発行

### 環境汚染の神鋼石炭火力発電計画に反対を



**議員** 神戸製鋼が現在の2倍近い

270万kWの発電力となる石炭火力発電増設計画は、地球温暖化防止で削減すべきCO<sub>2</sub>排出を倍にし、大気汚染物質の最大着地濃度地点は市内にある。電力供給は足りており、新たな発電施設は必要ない。市民の健康と環境を守る立場から増設計画に反対するよう求める。

**市** 石炭火力発電は、温室効果ガスの排出量が大きいという問題があるものの、安定供給性、経済性に優れた重要な電力源として必要であるため、高効率化を図り環境負荷を低減しつつ活用していく方針を国が示していることから、今後、環境影響評価法に基づいた手続きが行われるよう、市として環境保全の見地から準備書への意見書を県に提出していく。



石炭火力発電の事業者資料(左)と問題を指摘する市民団体の資料(右)

### 高齢者施策について



**議員** 高齢者が安心して暮らせる施策を指して、介護保険制度の改正によるチェックリストや新総合事業の導入、利用料の2割負担等について検証し、公表するよう求める。また、特別養護老人ホームの設置を要望する。

**市** 新総合事業はスタートから1年を経過した時点で評価の仕組みを含め公表していく。特別養護老人ホームは、潮見圏域での増設を予定しているが、事業者からの応募に至っていない。今後も介護保険事業計画に基づき施設整備を進めていく。



あしやの高齢者をサポートするガイドブック

**議員** 介護保険料の滞納者への対応や高齢な障がい者の介護について問う。

**市** 滞納者には分納誓約の手続きを基本に対応している。高齢で障がいのある方には個別訪問により状況に応じた支援を行っている。

### 給水スポットの設置を



**議員** 小型ペットボトルの消費を減らし、マイボトルに芦屋市の安全でおいしい水道水を詰められる給水スポットを公園や公共施設に設置してはどうか。

**市** 公園78箇所の水飲み場を給水スポットに指定することについては検討していく。また、本市の施設への新たな給水機等の設置は、衛生管理上の問題から考えていない。

### 海浜ゴミの対応について

**議員** ボランティアで集めている尼崎港管理事務所管轄の芦屋川の海浜ごみの仮置き場、収集および処理について、市民・県・市でルール作りをしてはどうか。

**市** 芦屋川河口のゴミ対策については、市民・県・市の三者でゴミの回収方法を含めたルールづくりを協議していく。海浜ゴミの仮置き場については、芦屋川河口に隣接している市有地の活用を検討している。



芦屋川の海浜ゴミ

#### その他の質問

- ・JR芦屋駅南再開発について

### 介護ロボットの導入促進について



**議員** 介護における介護士の職務は体力、精神力ともに変化で

ある。その解消のため、労務の負担軽減、高齢者の自立支援、施設における人手不足の解消、施設運営の効率化に資する介護ロボットの導入に対し本市として独自の支援策を行う考えはないか。

### 市

介護ロボットは、平成28年度に国の補助金を活用し、移動支援装着型ロボットの腰補助用マッスルスーツを1施設に、見守り支援システムを2施設に導入支援した。現在のところ、補助制度など市独自の支援策の実施は考えていないが、国の介護現場のニーズを反映したロボット開発の状況や介護業務の効率化・負担軽減効果の検証を踏まえ、研究していく。



装着者の腰負担を軽減するマッスルスーツ

### その他の質問

- 地域経済の活性化支援について
- マスコットキャラクターについて

### お散歩バックを活用し、住民参加によるマナー向上を



**議員** 犬の散歩時にマナー啓発

バックを使用するよう要望する。住民を巻き込んだマナー向上運動は、シティブロモーションにつながると思うが、市の見解を問う。

### 市

お散歩バックの作成は、作成費用等も勘案した上で慎重に検討していく。



市民マナー条例の啓発マグネットシート(春と夏バージョン)

### 議員

今後の市民マナー条例推進計画の策定にあたり、本市として電子たばこの取り扱いや商業施設での喫煙規制、自転車運転など新たなマナー項目を加える検討を行うよう求める。

### 市

今後の本計画については、市民と行政が一体となった清潔で安全・快適なまちづくりへの取り組みを推進することを目標としており、今年度、市民へのアンケート調査を実施し、その進捗状況を踏まえ策定していく。

### その他の質問

- JR芦屋駅南の再開発事業について

### 教育の魅力の発信について



**議員** インターネット、広報紙、給食本など複数のコンテンツ

を連動させることで魅力発信の相乗効果が期待できる。レシピサイトを設けたり、広報紙に給食レシピを掲載するなど、学校給食の魅力発信をさらに強化することはできないか。また、市役所の食堂において給食メニューを提供することはできないか。

### 市

広報紙への給食レシピの掲載については、「広報あしや」に限られた紙面の中でタイムリーな情報を優先しているが、調整できる範囲で掲載していく。学校給食のレシピのウェブサイトへの掲載については、今後検討していく。本庁舎食堂での給食メニューの提供については、本市の給食を紹介する良い機会となることから、特別メニューとしての提供を検討していく。



タブレットでレシピサイトを見ながら調理すれば、汚れや濡れることは気にならない

### その他の質問

- 市内の迷惑駐車について

### 公立幼稚園にも3年保育の実施を



**議員** 保護者や多くの市民が3年保育を望んでいるにもかかわらず、「民業を圧迫する」というのが教育委員会の見解である。このままでは公立幼稚園の将来はどうなってしまうのか。

### 教委

認定こども園の整備により、待機児童対策と併せて3歳児の教育ニーズにも応えていけるものと考えている。この度の幼稚園・保育所の「あり方」の計画を着実に進めていくことが、本市の将来を見据えた就学前教育・保育施設の充実プランであると考えている。

### 芦屋市における民泊の問題点について

### 議員

本市でも民泊は存在しているが、民泊は住宅地では歓迎される施設ではない。住環境保全を優先すべきと考えるがどうか。

### 市

良好な住環境の維持、保全を図るため、民泊営業を積極的に推進する考えはない。



芦屋の住環境を守りたい

### その他の質問

- 芦屋市のごみ問題の解決策について
- 自治会活動等に対する支援策について



### 学校スポーツ施設の開放と整備について市の責務は



**議員** 最近の夏は35度を超える日が多い。炎天下での活動は自粛しなければならない。ナイター設備が必須となるのではないかと。4年後には35歳以上であれば誰でも参加できるワールドマスターズゲームズが関西で開催される。参加希望の市民のために活動できる施設が現状では足りないのではないかと。

**市** 国、県が所有するグラウンドの開放、公園グラウンドの照明設備および補助照明を整備しての夜間開放は現段階では考えていない。

**教委** 学校体育施設は、各小学校ではコミスクなどに開放しており、中学校では、潮見中学校で体育館の一部を開放している。他の中学校施設においても、教育委員会、学校、利用者団体等の三者で十分に協議していきたい。夜間照明は、潮見小学校では夜間の校庭開放の際に使用しているが、その他の学校施設については、近隣住民の理解が得られないため、整備は困難な状況になっている。



グラウンドの照明は簡易照明設備で十分(川西グラウンド)

### 年功序列な給料の是正と昇給停止年齢の見直しを

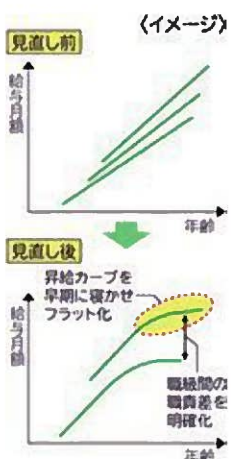


**議員** 公務員は毎年4号給の昇給をするが、階級ごとに100以上の号給があることは昇任せずとも25年以上にわたって昇給できることになる。最高号給の引き下げで是正せよ。

**市** 階級をまたいでの給料額の重複是正や号給ごとの上限額の引き下げの実施などは普通昇給を実施できなくなる場合があること、また、各号給には適正な間差額を設けて全体の給与体系を構築していることから、現在のところ見直す考えはない。

**議員** 本市の昇給停止年齢は55歳だが、民間平均はさらに低い年齢で昇給抑制を行っている企業も増えていることから見直しを求める。

**市** 55歳という年齢は民間事業所の給与実態を踏まえた人事院勧告に準じて定めているため、現在のところ見直す考えはない。



### 非常事態時の安全確保について



**議員** 昨今の北朝鮮のミサイル発射や核実験は、世界各国に緊迫した状況を生み出している。ミサイルが短時間で着弾することに鑑みると、Jアラート\*の連携の動作確認、鳴った際の対応方法の周知徹底が早急に必要だと考えるがどうか。

**市** 武力攻撃事態等を想定した訓練の際には、改めて防災行政無線の動作確認と放送を行うとともに、避難行動訓練を実施していく。国民保護計画については、市民へのさらなる周知が必要と考えており、さまざまな媒体を通じて、市民が取るべき行動を周知している。



**議員** 通学時や在校時の児童生徒の安全確保はどのように考えているか。

**教委** Jアラート受信後の対応については、情報収集を速やかにし、各学校園と連携し、園児・児童生徒の安全確保に努めていく。

\*Jアラートとは、人工衛星と市町村の防災無線を利用して緊急情報を伝える「全国瞬時警報システム」の通称

**その他の質問**

- 妊娠から出産、子供が就学前まで切れ目なくワンストップでサポートする産産版ネッポラについて
- 身寄りのない高齢者の終活課題の解決について

### 障がい者の就労支援をさらに進めよ



**議員** 障がいを持つ人の就労は、大変厳しい現実がある。就労を支援するためのさまざまな施策があり、以前よりは改善してきているとはいえず、さらに支援を進めていく必要がある。その観点から、本市としてどう対応しているのか、また、市独自の就労支援制度のさらなる活用を求めるがどうか。

**市** 就労支援については、平成24年度から保健福祉センターに就労支援員を配置し、県の「阪神南障害者就業・生活支援センター」と連携し進めている。平成25年度からは事業者として市が率先し、知的・精神に障がいのある人の短期雇用、チャレンジ雇用を実施している。また、新たな雇用につなげるため、現在、商工会とともに市内事業者の実態調査を実施しており、障害者雇用奨励金制度の周知を進めている。



障がい者の就労を支援

**その他の質問**

- 予防の観点から歯科診療について

前田 辰一 無所属

### アスベスト対策の強化を

議員

アスベスト暴露による健康被害は深刻である。市はアスベスト含有建築物調査を実施しているが、未回答物件等への対応を求める。



市

第1次・第2次の吹付けアスベスト実態調査において「未回答」のものに対しては督促や定期報告等によるフォローアップ調査を行っている。

### JR芦屋駅南の整備を

議員

JR芦屋駅南地区の再開発は、事業計画策定が今年度の取り組みであるが、人口減少と低経済成長下の環境変化に対応する計画づくりが求められていると考えるがどうか。

市

JR芦屋駅南地区の再開発事業は、住宅・商業・公益・交通の機能向上を目指した施設整備を行い、本市の南の玄関口としてふさわしいまちとしての魅力を高めることで、人口減少や少子高齢化対策にも寄与するものと考えている。



再開発事業が進むJR芦屋駅南地区

その他の質問

・阪神・淡路大震災時の災害援護資金貸付金について

福井 利道 あしや真政会

### 無理な都市計画道路の廃止・代替地の活用について

議員

いまだ完成していない昭和20年代に計画された都市計画道路については、計画地に住民の財産に建築規制をかけたままの現状に鑑み、早急に計画を見直すよう求める。



市

今後の整備の必要性を十分精査するとともに、社会経済情勢の変化などを踏まえ、適宜見直ししていく。

議員

東芦屋町の代替地を地元への説明もなく売却しようとしているが、幼保再編計画等の山手地区への市費投入不均衡の観点からも保持し地域福祉に供するべきである。

市

代替用地については、土地開発公社解散時に策定した計画に従い、一般競争入札により売却し、その収入を基金に積み戻すこととしている。



その後、入札中止となった東芦屋町の市有地

その他の質問

・言葉の子供をホンマにウルトラマンが守ってくれるのか  
・市内業者育成の観点から入札制度のあり方について

森しずか 日本共産党

### 地域合意のない幼稚園・保育所統廃合計画は問題

議員

市民の批判に押されて見直されたが、十分な市民合意を待たずに強行するのは行政の都合による「見切り発車」である。5年後に完了する計画では今の待機児童解消にはならない。地域ごとの住民の願いや意見に耳を傾け、行政は住民合意を得ることが必要ではないか。3年保育等の要望に応えよ。



市 教委

「市立幼稚園・保育所のあり方」についての住民との合意形成は、本年2月の公表後、地域等への説明会の実施や広報あしや臨時号の発行などにより周知を図るとともに、いただいたご意見、複数の団体からの要望書や申入書等を踏まえ、「あり方」の一部変更を行ったところである。今後も具体的な取り組みを進める中で、住民の皆さまに丁寧な説明を行っていく。



精道幼稚園に飾られている園児の作品

その他の質問

・国民健康保険について

### 埼玉県さいたま市と川越市を視察 建設公営企業常任委員会

建設公営企業常任委員会は、7月31日と8月1日の2日間、埼玉県さいたま市と川越市へ行政視察を実施しました。

さいたま市では、主に浦和駅東口駅前地区の第二種市街地再開発事業について、事業や施設の概要を聞いたうえで、現地の施設を実地に見学調査しました。

川越市では、無電柱化の取り組みとして、無電柱化と都市計画の関係、事業の経過や概要を聴き、電柱のないすっきりした町並みや無電柱化をしても必要となる地上機器の設置方法などを実地に調査しました。

多くの質疑を行い、担当者から生の声を聴き、充実した視察になりました。



浦和駅周辺まちづくり事務所

# 審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
<b>条例の一部改正</b>			
53	個人情報保護条例及び情報公開条例	可決	国の法改正に伴い個人情報の定義を明確化するとともに、要配慮個人情報の取り扱いを定めるもの
54	市立幼稚園の設置及び管理に関する条例及び市立保育所の設置及び管理に関する条例	可決	市立幼稚園及び市立保育所の再編を目的として、市立朝日ヶ丘幼稚園、市立精道幼稚園及び市立精道保育所を廃園(所)するもの
<b>平成28年度決算</b>			
61	水道事業会計決算の認定	認定	総収益は、給水収益の増加や分賦金返還金などにより、前年度比0.8%増加の21億7,557万3,000円。総費用は、効率的な人員配置や経費削減に努めたことなどにより、前年度比2.4%減少の18億9,932万5,000円。その結果、2億7,624万8,000円の純利益となったもの
63	病院事業会計決算の認定	認定	総収益は、入院患者数や入院単価の増加などにより、1億7,214万2,000円増加の49億713万7,000円。総費用は、退職給付費の増加などにより、9,062万円増加の51億9,919万6,000円。その結果、2億9,205万9,000円の純損失が発生し、当年度末の未処理欠損金が115億3,691万9,000円となったもの
64	各会計決算の認定	認定	4、5ページの「平成28年度決算」をご覧ください。
<b>平成29年度補正予算</b>			
55	一般会計補正予算(第2号)	可決	市税の過誤納還付金、地域福祉活動推進事業、市立認定こども園の整備、都市再開発事業特別会計への繰出金、義務教育就学援助、部活動校外活動及び西山幼稚園改良改修工事費の追加を行うもの
56	都市再開発事業特別会計補正予算(第1号)	可決	JR芦屋駅南地区再開発事業のため、職員給与費等を追加するもの
57	介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	過年度の国庫支出金等の精算及び前年度の歳計剰余金の処理を行うもの
65	一般会計補正予算(第3号)	可決	9月28日の衆議院の解散に伴い、総選挙が実施されることとなったため、これに要する経費の追加を行うもの
<b>契約の締結</b>			
58	分庁舎及び消防団精道分団建替工事請負契約	可決	分庁舎及び消防団精道分団建替工事について、条件付き一般競争入札の結果、株式会社明和工務店と8億2,879万2,000円で契約しようとするもの
<b>その他</b>			
52	教育委員会委員の任命	同意	平成29年9月30日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
59	三条デイサービスセンターの指定管理者の指定	可決	一般財団法人芦屋ハートフル福祉社を三条デイサービスセンターの指定管理者の候補者として決定するもの
60	市道路線の認定	可決	南芦屋浜地区の涼風町東部の宅地開発に伴い、新たな住宅区域の市道路線の認定をしようとするもの
62	平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	平成28年度水道事業会計決算において生じた未処分利益剰余金のうち、2億1,624万7,511円を資本金に組み入れることで水道経営の安定化を図り、また、残額の6,000万円を減債積立金に積み立てることで、将来の企業債負担の軽減を図るもの
<b>議員提出議案</b>			
19	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	可決	下記参照
<b>陳情</b>			
11	市立図書館に関する陳情書	結論を得ず	雑誌の閲覧手続きを廃止すること、職員の配置は市全体で柔軟に対応すること、また、図書館のビジョンを詳しく示すよう求めるもの(民生文教常任委員会)
12	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書	採択	森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を強く求めるため、政府・国会等関係機関に対し、「全国森林環境税の創設」に関する意見書の提出を求めるもの(総務常任委員会)
13	芦屋市朝日ヶ丘幼稚園の廃園計画に関する陳情書	不採択	朝日ヶ丘幼稚園保護者一同が朝日ヶ丘幼稚園の廃園に反対するもの また、新入園児募集停止の撤回を求めるもの(民生文教常任委員会)

※     は「賛否の分かれた議案」を表しています。 ※陳情は( )内の委員会の審査結果です。

## 賛否の分かれた議案

今回賛否の分かれた議案等の採決の結果は右表のとおりです。

○…賛成 欠…欠席 除…除斥  
×…反対 棄…棄権 一…議長  
(議長は表決に参加しません。)

議員名	あしや真政会										公明党	日本共産党	日本維新の会	会派に属さない議員			議決結果							
	岩岡りょうすけ	福井利道	長野良三	福井美奈子	山田みち子	畑中俊彦	中島健一	重村啓二郎	松木義昭	徳田直彦	帰山和也	田原俊彦	ひろせ久美子	森しずか	平野貞雄	寺前尊文	大原裕貴	いとうまい	長谷基弘	前田辰一	中島かおり	結 果	賛 成	反 対
議案番号 54	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	可決	15	5
55	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	可決	15	5
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	可決	16	4
議員提出議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	可決	17	3

## 可決した意見書

意見書の詳細な内容につきましては、市議会ホームページ「議員提出議案の審議結果」をご覧ください。

今定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

### 「全国森林環境税」の創設に関する意見書

【提出先】衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣  
環境大臣  
経済産業大臣

【内容】平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

## 議会のナゼ? なに? 議会クイズ 第20回 再発見!

**問題** 今定例会では決算特別委員会が開かれ、3日間集中的に審査が行われました。  
審査を行った会派はあしや真政会・公明党・日本共産党・日本維新の会の4会派ですが、何人で審査したでしょうか?  
**ヒント** 4ページの右下の写真を見てね☺ (出題者:ひろせ久美子委員)

①21人 ②6人 ③14人

**前回のクイズの答え**「乳幼児等医療費助成制度と子ども医療費助成制度は、健康保険が適用される医療費について県と市が助成し、費用負担を軽減する制度(※いずれも所得制限あり)ですが、このうち、子ども医療費助成制度の対象年齢はいつまででしょうか?」の正解は、「③中学校3年生まで」でした。  
※前回の応募総数は22件

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は、2月発行予定のあしや市議会だよりNo.103で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。

### ■応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見や感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第20回議会クイズ応募」としてください。

### ■応募締め切り

平成29年11月30日(木)まで ※当日消印有効

### ■応募先

〒659-8501  
芦屋市精道町7番6号  
芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス:  
gijityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報(賞品の発送以外)には使用しません。  
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



QRコード  
(メールアドレス)

## 芦屋の話、しませんか?

### 議会報告会の開催

議会の活動を市民の皆さまにより知っていただくために、議会報告会を開催します。議会改革のトピックス・平成28年度の決算審査の報告のあと、意見交換会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。



※事前の申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

### 第1回

#### 意見交換会テーマ

### 芦屋市の道路は安全?

11月22日(水) 午前10時~11時40分  
市役所南館4階大会議室

### 第2回

#### 意見交換会テーマ

### 芦屋市の税金って高いの?

11月22日(水) 午後7時~8時40分  
大原集会所洋室B

### 第3回

#### 意見交換会テーマ

### 幼稚園・保育所のあり方について

11月23日(木) 午前10時~11時40分  
保健福祉センター会議室1

## 委員会のインターネット中継開始

12月定例会から、常任委員会や特別委員会等でもインターネット中継が始まります。

傍聴に来られない方は、インターネット中継をぜひご覧ください。

芦屋市議会中継

検索

## 12月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。ぜひお越しください。

月	火	水	木	金	土	日
11/20	21	22	23	24	25	26
				議会運営委員会		
27	28	29	30	12/1	2	3
本会議 (提案説明) 総務常任委員会			議会運営委員会	本会議 (表決・提案説明)		
4	5	6	7	8	9	10
建設公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会				
11	12	13	14	15	16	17
議会運営 委員会	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	委員会 (予備日)		
18	19	20	21	22	23	24
			議会運営 委員会	本会議 (表決)		

○本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。

## 編集後記

芦屋市議会では、情報公開の強化に努めています。

9月定例会から本会議のインターネット中継をスマートフォン・タブレットからでもご覧いただけるよう、改善しました。また、12月定例会からは委員会審査のインターネット中継も開始します。

市議会だよりについても、少しでも分かりやすく、かつ多くの情報をお伝えできるよう取り組んでまいります。

【編集委員】  
大原 裕貴